

議 事 録

会議名	平成24年度第1回寒川町外部評価委員会会議
日 時	平成24年7月5日(木) 13:00~15:00
場 所	寒川町役場 議会第2会議室
出席者	委員 : 石田晴美、宮内芳明、新木重光、生田忠和、吉田政明 木内礼次郎副町長(途中退席) 事務局 : 企画政策部 石井宏明(部長)、古谷雅洋(専任主幹)、山口真人(行財政改革推進担当主査)、吉田史(行財政改革推進担当主任主事)
議 題	(1) 委員長、副委員長の選任 (2) 議事録承認委員の指名 (3) 外部評価の実施方法等について (4) 事業選定基準(案)の検討について (5) 対象事業の選定について
決定事項	議事-(1) 委員長、副委員長の選任 委員長: 石田晴美委員 副委員長: 宮内芳明委員 議事-(5) 対象事業の選定について 対象事業を次のとおり決定 * ICT活用事業 * クリーンエネルギーの有効活用事業 * 児童運営事業、町立保育園運営事業、保育園管外委託事業 * 地震対策事業 * 教育コンピュータ活用事業(小学校・中学校) * コンピュータ利用事業
議 事	○開会 * 委員の委嘱 * 副町長あいさつ * 委員自己紹介 * 事務局職員自己紹介 <所要により副町長退席> ○議題 [議事進行: (1)古谷専任主幹 (2)~(5)石田委員長] (1) 委員長、副委員長の選任 互選により、次のように決定。 委員長: 石田晴美委員 副委員長: 宮内芳明委員 (2) 議事録承認委員の指名 名簿順に行うこととした。今回は、石田委員長。 (3) 外部評価の実施方法等について (事務局から、外部評価の実施方法等について、概要を説明。) 委員長 説明があったこれらのことについては、もう決定ということですね。これについて質問等がおありになれば。スケジュール案については、あくまでも案ですので、ここをこうしたらいいんじゃないか、というようなご意見、ご質問等ございましたらば。いかがでしょうか。 生田委員 8月初旬から始める各事業担当者とのヒヤリングですが、5分で質疑できるのでしょうか？ 事務局 5分というのは担当者の説明だけですので、質疑については、その後15分程度とるかたちになると思います。 生田委員 それは、いろいろ難しい複雑な質問があると思うんですよ、それも含めて。 事務局 質疑の時間として15分取っていますが、それが多少延びる分には構わないと思います。

生田委員	関係部署と相談しなければ分からないというようなことも出てくるのでは？
事務局	それについては、例えば、その場でどうしても回答が出ないというようなものについては、その後時間を別のところでとって、ということも可能だと思いますので、そこは調整をさせていただければと思います。 また、関係部署と言いますか、直接の担当課にヒアリングをしますので、基本的には分からない部分はそんなに無いと思います。ただ、細かいところで数字云々ということになると、その場ですぐには、という場合はあるかもしれませんが、基本的には担当課が出席しますので分かるかと思います。
委員長	事前に事務事業評価シートと事業概要シートをいただくので、当日その場での質問はもちろんありなのですが、あらかじめお聞きになりたいことを投げかけていただければ、担当部署も慌てなくて済むと思いますので、資料もそれなりに揃えて。もちろん、当日その場で思いついた質問についても、あります。
生田委員	難しいですね、このシート(資料9「事務事業評価シート」)は、企業で使っているやつよりはるかに難しい。これについては、定量分析などを職員は勉強しているのですか？これは、定量化して、それを成果として評価するという形になっているのですよね。
事務局	(シートの)表面の方で成果指標とか活動指標というところで数値としての目標を設定してありますので、そのような形にはなっております。
生田委員	そう簡単ではないのでは？
事務局	全てにおいて、その目標で判断できるかということ、なかなかそういかないところもあると思います。
生田委員	定量化が難しい事業も、たくさんありますよね。
事務局	そうですね。目標設定の難しいものも確かにあります。
生田委員	そこを突かれた場合には、なかなかお答えに困るんじゃないかなという形の質問なんですよ。
委員長	事務事業評価シートについては、この資料9が見本ですよ。事業概要シートは別に作るんですか？
事務局	そうですね。これとは別に。
委員長	その見本は特に無く？それは好きに作っていいって感じ？
事務局	様式はこちらで決めて、それに沿って作らせる形になります。
委員長	ぜひ私の方でお願いしたいことは、大体どこの自治体も事務事業評価シートはこのような形式が多いんですが、行政の方々はとても几帳面なので、「A4でこれ」というふうにすると、ここに収まるように書くんですね。記載内容がこんな少ししか無かったら、事業の概要が全然分からないですよ。だから、そのA4に収まらなくていいので、ちゃんと分かるように書いて欲しいと。逆にこれで収まったら、「あなたの事業はこれっぽっちですか、何億もかけてるのに」というふうに言いたいと思いますので。本当に事務事業評価シートは、こういうA4の2枚にすると、ほとんど欲しいデータが出てこないんですね。これは見本ということでしたら、これはこれで結構ですけども、その事業概要シートの方にはきちんと分かるように。それは私達ではなくて、町民の方が見て、きちんと分かるように。短い時間ですから。言われたことだけを書くのではなく、私はこれを説明しなければということを書きたくないので、紙数が少し多くなっても構いません。逆に少なかったら、私は「あなたの事業これだけですか」と言いたいと思いますので。よろしくお願いします。
生田委員	内容を5分の1くらいにしたらどうなんですかね。そうすれば交通整理だけでできると思います。
委員長	例えばですね、事務事業評価シートの妥当性、有効性、効率性って、これだけしか書く欄が無いと、「妥当性は妥当である」と、それぐらいしか書けないですよ。もっとちゃんと「何々がどうだから、こうなってどうなった」というようなことを数字を交えて説明するには、これだと欄が少なすぎるので、本当に分かるように説明を。そうしたら私達ちゃんと読んで来ますので。あとそれを例えば、その後ももちろん公開になるでしょうから、町民の方が読んで本当に分かるように。「これじゃどうして妥当なのか分からないじゃないか」ということの無いように。大変だとは思いますが、書いていただけたらなど。
生田委員	事業仕分けを拝聴した中で、出てきたデータがですね、まともなデータがないんです。難しすぎるんですよ、これは。

事務局	私の手元に22年度に実施した外部評価の時の概要説明書がございますので、参考までに、一部のページだけなんですけど、コピーしてお渡ししますので、ちょっと見ていただくということでもいいですか。お手元に概要シートが無いので、借りの話みたいになっちゃってるんで。ちょっとお時間下さい。
宮内委員	今まで疑問をしてきましたけれども、出てきた資料に基づいて、いろいろご意見を出していただいて、どんどん必要な資料、「これじゃ足りないよ」とか、そういう形でどんどん要求されて、それでより良いこの委員会にしていなければよろしいかと思えますので。それぞれの委員の思いを込めてやっていただければ、大変よろしいかなと思えます。
委員長	事前に担当部署から、事務事業評価シート、事業概要シートが来ると思えますので、データが足りないという時には、ヒアリング当日までにデータを出してくれ、と依頼してください。そうしないと限られた時間ではできないと思います。それから、私のほうから1点よろしいでしょうか。このヒアリング1事業60分程度なんですけど、1回事業担当者が退席されるんですよ。退席する必要は私は無いと思います。再質疑のためにまた呼んで来て、どうして再質疑となったのか、前の話の流れがあるわけですよ。更に、外部評価委員のやり取りは、実際にお聞きになられたほうが、どういう点が問題になっているか分かると思えますので、出たり入ったりされるのではなくて、60分きっちり、ずっと張り付いていられた方が。そうすると私達の議事の中での誤認ですとか、そういった部分についても事業担当者からその場で指摘を受けることもできると思えますし。退室は無しでお願いします。そのほか何かありますか。
新木委員	単純なこと聞いていいですか？これは、役所の方が作るんですよ。内部評価ですよ。事業化するためのものですよ。評価欄で「妥当である」「どちらかと言えば妥当である」「あまり妥当でない」と書いてあるんですけど、妥当であるものしか出てこないのでは。
事務局	そのためにまず事業を委員の皆さんに選定していただくという形になりますので。選定していただいた事業に基づいてこのシートを作成していただくんですけど。
新木委員	作成するのはこっち？
事務局	いえ、原課です。
新木委員	内部評価をしたうえで、どうするか更に外でも評価するという事ですね。
委員長	大体こういう事務事業評価シートで、行政が自分で自分のことを「妥当ではない」「有効ではない」「効率的ではない」とは、普通は言いません。ただ、先進的な自治体になると「こういう所が妥当ではないので、これからここを直していきたい。そのためにこういうアクションをとっていきたい。」ということを書いてくるところもあります。それは進んでいる自治体。進んでいないところは、「妥当、改善の余地無し」というところが多いです。だからこれは、そもそもの欄(シートの様式)を見ると、こういうところが妥当ではないという問題点を書く欄が無いということ自体が、そういうことが今までにないという自治体なので。先進の自治体だと、もっとたくさん書ける。「妥当で、有効で、効率的だよ」というのは、普通はないはずなんです。なので「こういうところが欠けているから、ここを直していきたい」と書く欄を設けている自治体だと「ちゃんと本気で書いているのね」って。ここだと書く欄がないので「それほど本気じゃないな」っていうのが見える、という感じですかね。ですから、これからいろいろシートの改善が必要だと思いますけど、(今回は)枠にとらわれずに、長くなってもいいので、ちゃんと書いて来てというのを、しつこいですがお願いします。実際に現場で仕事をしている方が、一番問題を知っているから、本当はこういうところが問題なんですけど、書く欄も無いし、妥当じゃないって書いたら、それはお前なんかしろって言われるから」など、書けない雰囲気はあると思うのですが。書いていただいて結構ですので。書いていただきたいなど。最初は他がやってないのに自分から書くというのは難しいと思えますが。
生田委員	上長評価がないんですね。上長による評価。
委員長	一応、下の所に課長による評価というのがあるんです。
生田委員	これだけでは、ちょっと。あと、もう一つは上長の評価っていうのがあるんですよ、企業の場合は。

委員長	一応、下に部長承認というのがあるんですね。ただ、この部長承認という欄も、ただ判子を押すだけになっているので。もっと書く欄があるってことは、(部長が)本気で見る気があるんだけど、これは(部長が)本気で見る気がないシートという…。まあ、追々。
事務局	今回につきましては、事務事業評価シート(の形式)ももうすでに決まっていますので。ただ、委員長からお話もございましたように、これにとらわれずに、ということもございますので、それについては、原課にこれを作らせる際に「特にこの枠にとらわれずに」というような注意をしていきたいと思っております。それと、もう一点。今皆さんのお手元にお配りしましたものが概要説明書になります。こちらのほうでもですね、下の方なんですけど、事業の必要性ですとか、類似事業にこんなものがあるですとか、あと比較の参考値、近隣自治体との比較ですね。そういったものを書く欄がございますので、こちら2枚がセットになるかと思っております。これらは先ほど言いましたように事前に送付させていただきますので、これに基づいて予めご質問されたいようなところがあれば、書面でいただければと思っております。
委員長	過年度のこの概要説明書をお出しいただいたんですけど、だいたい皆さんこれ1枚が多いですか？2枚くらいに亘ることはありますか？
事務局	そうですね、A4で1枚が多いです。
委員長	では、必ず最低A4で2枚ぐらいをお願いします。これでは書く欄が限られてるので書けませんから。もっと書けるようにするか、或いは「ここには無いんだけど、他にこういう事があるよ」というふうに追加資料を出して下さい。事業仕分けもそうですし、他の評価でも概要説明書が1枚というのは、ちょっと少なすぎます。最低もう1枚ですね。1枚書いて終わりじゃなくて、そのぐらいはちょっとデータを(出していただきたい)。その出てきたデータでもまだ足りなければ、こちらで「このデータを足して」とお願いいたしますので。提示されるデータがちょっと少ないかなど。あと(様式としては)これで結構ですけど、他に言いたいことがあるんだったら、別紙ですとか。或いは(枠の)幅が足りなければ、幅を伸ばして使用するか。これExcelで作ってるんですね。簡単に伸びると思っておりますので、ちょっと、これでまとめるというのは少なすぎるといえる気がいたしますので。例えば、事業仕分けもご経験があると思っておりますけど、もっと多かったですよね、事業仕分けの時の事業の説明の用紙って。1つの事業で3~5枚ぐらいあったと思うんですよ。それと同じくらい(データを)増やしていただかないと、これ(事業概要書)と事務事業評価シートだけでは、ちょっと評価出来ないと思っております。
生田委員	ここに今、増やせっていうことなんですけども、どうせ増やすなら、関連部署の協力。その事業をやるのに関連部署が当然出てくるんですね。その協力。それから、あわせて上長の協力。これも入れた方がいいと思っておりますよ。そしたら、活性化しますから。
委員長	私からのお願いなのですが、これは10月中旬に事務局で報告書(案)を作成いたしますので精査を行っていただきますとあるんですが、過年度の報告書を参考資料としていただけていないので、委員の皆さん全員に出していただけますでしょうか。そうすると、ゴールはこういうものなんだというイメージがつくと思っておりますので。あと、そこには過年度の外部評価で、こういうものを評価をして、こういう指摘事項があつて、っていうその評価の過程とかも分かりますので。
事務局	わかりました。そちらは、後でお送りするという事でよろしいでしょうか。
委員長	はい、あとで結構です。あと、併せてですね、過年度の外部評価をされていて、その結果がどういうふうにフォローされているのかっていうのは、何かおありなんでしょうか？
事務局	外部評価と事業仕分けも含めまして、平成20年度からの実施になるのですが、現時点で、(評価結果・仕分け結果に対する)町の方針についてどこまで対応ができていくのかということをご所管に確認を取っている段階です。そちらの方がまとまりましたら、資料としてお出しできるかなと思っております。
委員長	それは、いつぐらいに。
事務局	今月の中旬を締切りとしておりますので、それ以降に(事務局で)まとめる形になりますので、8月以降になると思っております。
委員長	わかりました。では、よろしく申し上げます。
生田委員	投資効果も含めてですか？

事務局	町の方針については、文章で「いつまでにこのようにします」という形で作られていますので、それに沿ってどの程度進んでいるか、という文章による回答になっています。数値的な部分については、最初に数値で方針を出していれば、それに沿った形になるんですけども、全てがそういう形のものでないのは事実です。
(4) 事業選定基準(案)の検討について	
(事務局から、事業選定基準(案)について、概要を説明。)	
生田委員	1~5そして7については大体こんなものだと思うんですけど、6と8がよく分からないんですよ。2020プランの中から選びなさいってことですか？町がやってる事業はこんなもの(資料4の総合計画実施計画の体系図)じゃないでしょ？
事務局	総合計画に登載されているものが町の事業という形になっておりますので、その中(資料4)に全て入っております。
生田委員	この体系図(資料4)には金額が入ってませんが、この体系図に従って、この資料(資料5)ができるわけでしょ？外部へお金が出てる分だけ、ということですか？
事務局	事業以外にお金が出てるものとして、事務経費という経費的なものがありますが、そちらは省いています。
生田委員	それはそれでいいんですが。あと、これ(資料5)単位がないんですよ。資料に単位がついてない。
事務局	金額のところですか。ごめんなさい。これは千円単位となっております。
生田委員	これ、会社であれば、突っ返しちゃう。それと、この中(資料5)に書かれているように数字がゼロになって、そして、事務経費に移行というふうになっているんですけども、要するに、職員の方がおやりになりますよ、という意味ですか？
事務局	要は「総合計画のほうから抜けました」というような意味です。事務経費ですから。事業は総合計画に入ってるんですけど、経費だと入らないので。
生田委員	事務経費ということは、職員の方がおやりになりますよということですね。その判断でいいですか？
事務局	やりますというか、経費についても事業についても、全て職員がやるんですけども。
生田委員	要するに、数字が出てるのもありますよね。事務経費に移行ということは、外部へお金が出ないという意味に私はとったんですけども。
事務局	例えば、資料5番の3ページ目の一番下のNo.23で賦課資料整備事業がございます。たまたま目に付いたので、例としてあげるのですが、一番右の備考欄を見ていただくと、事務経費に移行となっています。これはもともと税務課が課税資料を整理するのに必要な事業です。これがどういうわけか総合計画の実施事業に入ってしまった。役所ですから、元々税金を課税させていただいて、徴収するというのは、本来の業務ですので、これを総合計画上に位置づけること自体がおかしいだろう、ということで。お金が外に出ていた、中で処理していたという話ではなくて、必要な経費でありますので、総合計画上に位置づけるのはおかしいだろうと、ということで事務経費の方へ動かしたというような内容でございます。今回、総合計画の後期を作る段階において、その辺を整理させていただいてる経過がございますので、24年から始まる後期基本計画の中では、本来は事務経費なんだから、そっちの方へ動かしたよと、そういうご理解をいただければいいかと思えます。
生田委員	要するに、固定的な費用だからという意味ね。
事務局	そういうことです。
生田委員	分かりました。
委員長	今の件に追加で質問よろしいですか。例えばこれだと、事務事業にNo.19のコンビニエンスストア収納委託事業があるんですけど、これも事務経費に移行になってるんですけど、これは最初コンビニエンスストアでの収納を開始しようという時は政策的なものだったので、(総合計画に)入っていたけれど、もう軌道に乗ってきて順調に推移しているから、これは総合計画から外して、通常の業務という位置づけにしたから、ということですか？
事務局	そのとおりです。なおかつ、導入当時にはイニシャルコストも掛かりますので、政策的経費に入ってたのですが、いまおっしゃったように順調に進んでいるので事務経費の方へ動かしたというふうな内容になります。

委員長	では、政策的なものだけを私たちが見ましょう、という形で、今回移動になっているということですか？
事務局	大雑把にいうと、そういう感じで結構だと思います。
委員長	とすると、別に政策的ではなくて、通常の町の仕事としてやらなければいけないものも相当数あるわけですが、そのやり方が非効率かどうかは評価しないということですか？廃止というのはたぶん無いと思いますが、非効率ではないかと思われるものが山盛りあったとしても、そういうものは、今回の案の中には入っていないってことですか？
事務局	そうです。
委員長	それは入れた方がいいんじゃないですかね。
生田委員	2020プランで固定しちゃいましたからね。結果的にそうなっちゃう。
委員長	あの、当然廃止ということはあり得ないけれども、やり方ですよ。やり方がもっと効率的なやり方があるんじゃないの？っていうコスト効果を見るのであれば、2020プランに固定する必要は無いと思います。むしろ、今回は2020プランの中から重きを置いて6本、そうでないものを3本というふうに、少しバランスを取った方がいいかなと私は思います。他の皆さんいかがでしょうか。
生田委員	私は選ぶのに非常に苦労しました。固定されちゃったから。おそらく皆さん選んだの殆ど同じじゃないかと思えますよ。選定の余地がない。
事務局	それでは、提案みたいな形になってしまって申し訳ないのですが、今回皆さんにお配りさせていただいてるこの資料5というのは、先ほど言いましたように政策的経費なものになっておりますので、事務経費的なものを今日この場でというのは当然無理な話になってきます。先ほど委員長がおっしゃったように皆さんのご意見がまとまればですね、例えば、だいたい12事業ぐらいの選定を想定していたのですが、特に事務局のほうから限定しているわけではないのですが、そのぐらいが適当ではないかと考えていたんですが、そのうち今日は例えば政策的経費を6本、次回の時に事務経費的なものの資料を出させていただいて、その中からまた、例えば5本とか6本というふうな選び方はできるのかなと考えます。
委員長	皆さんいかがでしょうか？
生田委員	委員長に賛成です。
副委員長	それぞれの委員の皆さん方の希望されている事業をやればいいわけですが、私も(前回実施までの経緯として)最初に取り掛かったのは、金額の少額なものまで、やるのはいかがなものかなと。やはり今のこの町の財政状況の厳しい中で、本当に妥当な、町民から喜ばれる事業をやってくれてるのかどうかという、そういう町民の視点からするということで我々としても、金額の大きなもの、ましてや国庫支出金が主たるものよりも町の単独事業を視点に置いてやっていくべきではないかなと。こういういろんなご意見も出させていただいて、この基準もそういった形の中で整理をされてきているのかなと言う形でございます。今皆さんがこれだけの事業の中で10本を選ぶのは大変です。またもうひとつ事務の方から選ぶのも大変でございましょうし。またそれは、どういうものをね、皆さんのご意見を頂戴してこういうものをぜひやってみたいんだ。ぜひこれを一つの俎上に上げていきたいんだということで、委員の皆さんご意見があろうかと思えますので、その中で絞り込みをしていただければいいのかなという感じはしておりますけれども。
委員長	先ほど事務局から6つずつという話も出ましたが、仮の話ですけど。
生田委員	別にいただいて、その中から半分半分ぐらいに選んだらどうですかね。
委員長	今日いただいた資料には総計が無いので、これでトータルいくらの予算か分からないんですけど。それと、今年度の予算の割合からいくと、ここ(資料5)に載っているのはどれくらいなんですか？これ(資料5)の中には、この事業の中に人件費はもちろん入ってないんですよ。抜いてますよね。ということは、人件費を抜いた予算の中の一般の歳出の内どれくらいか。全体の中のどれくらいか、また、事務経費はどれくらいか、というものも。大変でしょうけど、お願いします。で、全体の中でどのくらいのものがここに載っているのかは分からないんですが、一応6本ずつのつもりでいいかなという気もするんですけど、皆さんいかがでしょうか。今回はこの中から何とか6本は選ぶ。
生田委員	それは、上段に書かれている分から、選ぶしかないから。下段はもう殆ど終わってますよね。残額はこれ、決算見込み額が出てますから。下段はもう殆ど進捗してるんですよ。23年度ですから。

事務局	1つの枠の中の上段下段という話ですよ。上段は24年度の予算、下段は23年度の予算と決算見込みです。
生田委員	だから、上段のあるやつっていうのは数限られてくるんですよ。
委員長	そうすると、まだ選定は、今、選定基準(案)ですので、この基準(案)の中の6番のところですね。2020プランからバランスを見ながら選定をする、更に事務経費からも選定する、と書いていただかないと、6番で除くことになっちゃってますので。で、7番は過去の事業仕分け外部評価の対象事業は除くということは、今ちょうどフォローアップされている最中とのことです。8番の後期計画でやるよっていうのも、今まだやらないので、これは町長がやりたいって言ったことが入っているんでしょうから、これは除く。あと、9番で質問なんですけど、ヒアリングを実施した結果って、このヒアリングっていうのはいつ、誰がやるヒアリングのことでしょうか？
事務局	それは、外部評価委員会の中で行うヒアリングのことです。
委員長	そしたら、これは選定基準なので、9番は不要なのでは？
事務局	評価の対象事業を選定する基準になりますので、ヒアリングをやった結果、最終的に評価を行わない事業が生じる可能性があることから、9番を設けてあります。もちろん全部が評価対象となる可能性もあるんですけど、内容によっては。
委員長	でも、それはヒアリングをしたら、これは外部評価の継続とかっていう結論を出せばいいんじゃないですか？だって、これは評価対象事業の選定をする基準ですよ。なのに基準でこのヒアリングしたら除くっていうのは何かおかしいような気がする。ヒアリングをする事業をまず選ぶっていうのがこの基準になるんじゃないんですか？
事務局	ヒアリングと評価っていうのは、数がイコールであるというのが基本にはあると思うんですが、ただ、以前の外部評価の際の委員さんからのご意見の中で、例えば12の事業に対してヒアリングを行って、その結果10の事業を評価するという形になった場合、残りの2つについて、評価をしないということの根拠づけと言いますか。
委員長	そういうのがあった？
事務局	はい、ありました。
委員長	その理由は？
事務局	その事業の内容が評価をするほどの大きな注目すべき点が無い、というようなそんなお話だったと思います。ちょっと細かい部分まで記憶が無いんですが。
委員長	私の感覚としては、(評価対象事業として)決めたら必ず、適切にやっているとかが、問題が無いなら問題は無しでも、それが評価結果だと思うので。問題が無い、適切にこのままやって欲しいということで、それを除くというのは、おかしい気がするんですけど。
事務局	そのまま今までどおりやっていいという評価になると、その事業に対して、要はお墨付きを与えるというようなことになるんじゃないかというお話が前回の時にありました。
委員長	外部評価は別にそんなお墨付きを与えるようなものじゃないので。
事務局	そのような経過から、評価をしない事業として扱った方がいいんじゃないか、ということになりました。事務局側としては、前回の時もヒアリングをしたものについては全て評価していただいて、という考えもあったのですが、委員さんのご意見としては、何も変化の無いものを評価に含めるというのは、先ほどお話したように、お墨付きを与えるんじゃないか、というお話が出たというところです。
副委員長	今、委員長が言われたように、これはあくまでも「評価をしましょうよ」と、「その対象事業を選びましょうよ」ということですから、それは「この事業全部、対象事業ですよ」ということをお示ししてくれているわけだから。やった結果としては「これはもう評価をしなくてもいいんじゃないのか」と、中身によってもですよ。だから、あくまでも今委員長が言われたように、「この評価をしましょう」という対象事業だから、外すということはしなくてもいい。9番は結果として出るかもしれないけれども、評価をやってみないことには分からない。だから、9番はあえてここに載せておくことはない。結果として、結論としては出るかも知れませんが、あえて、まだやる前にね、選定基準という枠に置く必要は無いかなと思いますけど。

委員長	いかがですか？では、9番は外すということによろしいですか？なんかちょっと違和感あったもので。では9番は無しで。あと何度も申し上げますが、6番は2020プランにこだわらずに、他の事務経費からも選ぶと。ただ、2020プランについては各章からバランスを見るとというのは、あっていいと思いますので。
生田委員	はい、賛成です。
(5) 対象事業の選定について	
委員長	では、次に実際に事業選定をしていくということになると思うんですが、先ほど生田委員の方から単位がないという指摘もありましたが、まず、資料5の見方を先に説明していただけますか？まず、これがどういう並び順になっているかですとかね。
(事務局から、資料5の概要を説明。)	
(資料の不備に関し委員から指摘があったため、事務局でその訂正作業や今後の日程調整を行うため、休憩)	
委員長	では、会議を再開したいと思います。先にですね、先ほど資料5は説明いただいたんですが、資料4の見方についても説明をお願いします。
(事務局から、資料4の概要を説明。)	
委員長	では、いかがいたしましょうか。事前に資料が配付されていまして、もう選ばれたという方がいらっしゃるかもしれませんが、是非その選んだものと理由をお聞かせいただければと思います。
生田委員	00313-04 コンピュータ利用事業 00330-01 総合計画推進事業 12331-01 ICT活用事業 22221-01 クリーンエネルギーの有効活用事業 32311-01 児童運営事業 " 02 町立保育園運営事業 " 03 保育園管外委託事業 (保育園関連として3本をまとめて) 33113-02 地震対策事業 33211-01 消防職員研修事業 " 07 消防団活動事業 (消防関連として2本をまとめて) 42122-01 小学校施設改修事業 42122-03・04 教育コンピュータ活用事業(小学校・中学校) 42121-01・02 「生きる力」の育成事業(小学校・中学校) コンピュータ利用事業について、選定時に確認したい事項としては、全体計画と推進状況、あとどのくらい予算が必要なんですかということ。また、選定については、制約を全部当てはめていくと、こんなものしか選べないんです。少ないんですよ。もう既に23年度終わって。
委員長	では、他に予め選定されていらっしゃる方についてもお願いします。
副委員長	00313-04 コンピュータ利用事業 12111-01 公園整備等事業 12331-01 ICT活用事業 22221-01 クリーンエネルギーの有効活用事業 32311-01 児童運営事業 " 02 町立保育園運営事業 " 03 保育園管外委託事業 (保育園関連として3本をまとめて) 33113-02 地震対策事業 41112-07 総合図書館運営事業 42122-03・04 教育コンピュータ活用事業(小学校・中学校) 51212-01 中小企業融資事業
委員長	その他の方はよろしいですか。そうしましたら、お二人とも真剣に選んできていただいておりますので、委員長提案なんですが、重複しているのが、ちょうど6本ありますので、2020プランの中から選ぶのはこの6本ということではいかがでしょうか？
生田委員	皆さん、いかがですか？私は構いませんが。
副委員長	縛りをかけなくてもいいんじゃないですか？
委員長	全部ということですか？
副委員長	とりあえず、ということにしておいて、後でまた次の出てきたやつとの兼ね合いで。
委員長	後の事務経費の方からも6本ぐらいいは選ばないといけませんので、今回については一応これと決めてしまった方が、後が楽だと思うんですね。今回のを全部やると13本になってしまいますので。

副委員長	私の感覚ですと、事務経費の方で議論をするところはあまり出ないのではないか、という感じがするんです。具体的にイメージとしてどういう事業が出てくるのか、いかがですか。
委員長	今回の資料には載っていないですけども、事務事業と言われるものが寒川町ですとどのくらいあるのですか？予算が付く事務事業というものの総数のうち、今回の資料に載っているのものが何本で、残りのもの(経費)が何本ある。その残りの何本についても、金額の小さいものなどで、やってみようがないものはあるでしょうが、金額の大きいものを並べて、検討する必要があるのでは。「この事務は必ずやらなきゃいけないものだけど、どうも町民感覚としては、無駄がありそうだ」というものは、見た方が良く思うので。ただ、経費の中にそのようなものは無いのではないか、というのが宮内副委員長のご発言なんですよ。
副委員長	事務経費というものについて、私のイメージ的には、議論になり得るのかというところがあります。
委員長	廃止という結論には多分ならないと思うんです。効率よくやっているのかどうか、他にもうちちょっと頭を使って、こういうやり方でやった方が良いんじゃないの、というものがあるような気がするんですけど。他にはいかがですか？
吉田委員 副委員長	(選定が)コンピュータ関係に随分偏っているような気がするのですが。意識的にそうしました。一番お金が掛かりますから。企業の皆さん方もそうだと思いますが、大金をつぎ込んだうえに、毎年維持管理でも相当掛かります。また、事務の効率化と言いながら、人もどんどん増やさなければやっていけない。そういう面があるので、意識的にコンピュータに議論を集中した方がいいのかなということ。
委員長	そうしましたら、副委員長のご提案もありましたので、お二人が共通に上げてらっしゃる6本は確定で、そのほかの7本については仮という形で一応上げておいて。後は事務局から事務経費の一覧を出してもらってから、再度選定ということ。その時に事務局にお願いしたいのが、この事業費には人件費が入っていないので、人数で良いのでその事業に張り付いている人数を提示してもらいたい。人数によっては、もう少し効率の良いやり方はないのか、ということもあると思うので。1人で2事業にかかわっているような場合もあると思うので、明確にするのは難しいとは思いますが。分かる範囲で結構です。そのような資料を見て、入れるもの、外すものを決定して、全部で12ぐらいにしたいと思います。いかがでしょうか？
副委員長	できます？
事務局	ちょっと難しいところなんですけど、何かしらの統一の方法を検討したいと思います。
委員長	あと、先ほどから言っている事業の本数ですね。予算が付いている事務事業が町には何本あって、今回の資料に上がっているのは何本で、事務経費が何本で、ということをお教えいただければ、全体でどのくらい選定してということになりますので。
(今後のスケジュールについて調整を図り、次のとおりとした。)	
○第2回会議(平成24年7月26日) 事務経費の一覧及び本日要望があった情報を事前に事務局から提示し、残りの事務事業を選定	
○第3回会議(平成24年8月10日) 本日確定した6事業についてヒアリングを実施	
○第4回会議(平成24年8月30日) 第2回会議で確定した事務事業についてヒアリングを実施	
○10月下旬までには、外部評価委員会としての結果を確定 (次年度予算に反映させるため)	
委員長	では、その他確認したい事等ありますか。
生田委員	その他で要望事項があるんですけど、後でお願いできますか？
委員長	もし差し障りがなければ、ここでご披露していただいても。
生田委員	よろしいですか？事業に補助金、助成金が相当町から払われているんですよ。ですからその、どの事業にどれだけの補助金、助成金が支払われて、全体でどのくらいになるのかと、いうのを知りたい。
委員長	多分、補助金については、何々補助事業という名前で事業に入っているんですよ。ただここに入っているか事務経費に入っているか分からないということですかね。
生田委員	全体で、これとは離れてね。

事務局	今回の資料とは別に、補助金のリストを次回等の会議でお渡しするような形ということですか。
生田委員	皆さん知ったほうが良いと思うんですよ。
委員長	もし、補助事業の中に「これは大きいね」というものがあれば、事務事業でそれを選ぶこともできますから、リストをお出しいただければ。
副委員長	補助金だけでよろしいですか？交付金もあるんですよ。
生田委員	交付金もあるんですか？それも含めてですね。皆さんの手を煩わせないで、お金を支払う事によって事業が成り立ってる。
事務局	平成23年度の実績ベースでよろしいですか。
生田委員	はい。税収から、皆さんの人件費を引いて、物件費を引いて、それから借金を払うと、あと何にも出来ないという状態ですよ、今の町の状態は。だから、それについても。
委員長	それでは、よろしいですか？事務局から何か連絡事項等ありませんか？
事務局	日程調整も済みましたので、今後はその予定に沿って進めさせていただきますと思います。他には特にございません。
委員長	それでは、第1回の寒川町の外部評価委員会はこれで終わりにいたします。皆さんどうもありがとうございました。
資料	資料1 委員名簿 資料2 寒川町外部評価委員会設置要綱 資料3 寒川町の外部評価 資料4 町総合計画「さむかわ2020プラン」前期基本計画平成23年度実施計画体系図 資料5 事務事業一覧表 資料6 事業選定基準(案) 資料7 外部評価対象事業の候補・選定時に確認したい事項等 資料8 平成24年度外部評価委員会スケジュール 資料9 事務事業評価シート(見本)
議事録承認委員及び 議事録確定年月日	石田 晴美 (平成24年9月10日確定)